

---

# バイオハザード2.5 ~ハイスクール・サイドストーリー~

エネミーライン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

バイオハザード2・5～ハイスクール・サイドストーリー～

### 【Zコード】

N8101M

### 【作者名】

エネミーライン

### 【あらすじ】

語られなかつた物語、語られなかつた悪夢。

思い出の町へ3人で行つた高校生の国見 望、立花一輝、近剛武人らが見たアンブレラ事件。

はたして、共に死の町から脱出できるのか……

ゾンビ系が好きな作者が書く、バイオハザード

初投稿の作品です。

## プロローグ（前書き）

どうも、Hネミーラインです。

東方とかの小説を見てたらこのサイトにたどり着きましたw

最近になってバイハをやりだし、その面白さに感動して書いちゃいました。

作者はBAKAなので、漢字ミス、言葉の使い方等がなっておりません。

今回はプロローグだけです。 どうぞー。

## プロローグ

それはどこのにある会話……

『守です。サリーさんは居られますか?』

『守! 元気にしてた?』

『はい。サリーさんもお元気そうでよかったです。』

『で、今日はどうしたの?』

『ええ、今度皆で集まろうと思つて……どうでしょうか?』

『皆つて、もしかして……』

『18年前の事件の皆です。』

『あれから18年なのね……。』

『皆も変わりましたよ。一輝も武人も……』

『私はもう老けちゃつたわ。20代の時が恋しいわ……』

『まだまだ若いですよ。』

『言うようになつたわね。予定は作つておくから、いつから連絡するね。』

『はい。よろしくお願ひします。では。』

そう、18年経った。

僕の大好きな町、大好きだった人達が僕の知ってるのではなくつてしまつた、あの事件。

世間ではよく言われたアンブレラ事件。

皆というのはラクーンシティの数少ない生存の人達だ。

「さて、続きをしますか。」

僕は、いつもあの町であつた事をノートに書いている。あの時、あの人が言つたことを信じて書き続けた。

この話は、事件当日に町にいた僕の話。

僕が見た、悪夢の話。

## プロローグ（後書き）

今回は事件から18年後をプロローグとしました。

不定期で更新するので、ご了承ください。

次は事件前日から、発生を書きたいと思います。

最後に…

力量のない小説書いてすいませんでした。――>

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8101m/>

---

バイオハザード2.5 ~ハイスクール・サイドストーリー~  
2010年10月12日04時07分発行